

人生六景

広川助広 一九一七—一九六五

田中助広は岐阜県美濃市の農村に、農家の三男として生まれる。

家族に可愛がられ明るく活発に育ち、尋常小学校卒業後は実家で農業に従事した。

一八歳の時、女系で跡取りの居なかった広川家に婿入りする事になった。家族ぐるみの付き合いのある家で、相手のみつとも子供の頃から共に遊ぶ仲だった。

二〇歳で長女、二二歳で長男を授かり、広川の家族も大

いに喜んでくれた。

二四歳の時、大東亜戦争勃発。助広も徴兵された。終戦後、無事に帰宅したが、戦争は彼を少し気難しい人間にしてしまった。

再び農業に就き、いろいろと苦労はあったが家族の為に必死に働き、みつと共に二人の子供を育て上げ、子供たちが独立した頃には四八歳になっていた。

一九六五年九月、台風二三・二四・二五号が立て続けに上陸し、大変な被害を受けた。二五号が過ぎ去った明くる朝、田んぼの様子を見に行く道すがら、助広はぬかるみに

足を取られ道端の石に頭をぶつけて亡くなった。
空は抜けるように青かった。

ひげくまごろう

好きなゲームデザイナー
アレッシオ・カバトーレ

作り話	劉子揚の友人	目次	広川助広
スゲ	夏侯マフ		ひげくまごろう
32	10	8	2

奥付	この本について	俳句	不老不死あげます	27週 + α
		西村遼	齋藤路恵	香秋ちひろ
153	148	144	70	38